

生田緑地マネジメント会議設立総会 議事録

開催日時 平成25年3月18日(月) 15時00分～17時00分

開催場所 多摩区役所 11階会議室

第1部 議事

第1号議案 運営ルールについて

第2号議案 会員、コアメンバー及び役員について

第3号議案 アドバイザーについて

その他

運営スケジュールについて

活動計画書の提出について

生田緑地整備事務所の設置について

生田緑地整備事務所及び東口ビジターセンターの利用について

第2部 意見交換会「マネジメント会議の発足に当たって」

<傍聴許可>

(事務局)

- ・傍聴の申し出があるが、傍聴を許可してよいか。

(出席者) 異議なし。

<取材許可>

(事務局)

- ・取材の申し出があるが、取材を許可してよいか。

(出席者) 異議なし。

<挨拶>

(大谷建設緑政局長)

- ・建設緑政局長の長谷です。本日はお忙しい中、生田緑地マネジメント会議設立総会に出席いただき、ありがとうございます。桜の花も咲き始めた、この時期に設立総会が行われることを大変嬉しく思う。
- ・既にご存知かと思うが、このマネジメント会議については平成23年3月に策定した、生田緑地ビジョンの検討の中で必要性について議論されてきた。活動している皆様をはじめ、地域や大学関係の皆様とマネジメント会議という一つのテーブルに着くことができ、これから生田緑地の運営を行う仕組みづくりができたことについて大変嬉しく思っている。生田緑地ビジョンを策定するにあたって、またその後の準備会においても、生田緑地における保全と利用を真剣に議論いただいた。この難しい課題に対して、特に準備会で議論いただいた皆様においては、本当にありがとうございました。また、これまで生田緑地で長年ご活躍いただいた生田緑地管理運営協議会、生田緑地植生管理協議会、両会の皆さんが今年度をもって発展的な解消を遂げ、生田緑地マネジメント会議に活動の場を移行される。

両会の皆さんには長年にわたり行政に協力いただきありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

- ・建設緑政局になり丸3年が経とうとしている。この間、緑の保全や都市緑化の推進にも、これまで以上にこの3年間、力を入れてきた。生田緑地においては、現地管理を行う組織として現地に生田緑地整備事務所を設置することになった。今後はマネジメント会議の力をお借りし、存在効用、利用効用を共存させて生田緑地の魅力を高めていきたい。よろしくお願ひします。

(池田多摩区長)

- ・多摩区長の池田です。私は多摩区を代表して区長として出席させていただいている。生田緑地には、岡本太郎美術館、日本民家園、昨年リニューアルオープンした、かわさき宙と緑の科学館、藤子・F・不二雄ミュージアムなど様々な施設があり、そういった資源を活かして多摩区として取り組んでいきたい。ご協力お願ひします。

第1部

<議事>

(事務局)

第1号議案 運営ルールについて

(資料1により説明)

(出席者) 拍手。承認。

第2号議案 会員、コアメンバー及び役員について

(資料2により説明)

(出席者) 拍手。承認。

葉袋会長、井口副会長、席へ移動

(マネジメント会議 葉袋会長)

- ・日本女子大学の葉袋です。従前は生田緑地管理運営協議会の会長をしていたが、このたび推薦をいただき、力不足なことも多いと思うが、新しく始まるマネジメント会議の会長を務めさせていただきたい。ご協力よろしくお願ひします。
- ・生田緑地は戦前に東京の環状緑地計画の中で大切な緑の拠点として位置づけられたところの一つと認識している。私は都市計画を専門にしているが、同じころにつくられたロンドンの計画は素晴らしいグリーンベルトを今でも維持しているのに対し、東京の緑は減少してしまったようだ。しかし偶然にも生田緑地及びこの周辺は素晴らしい緑が残っており、それは行政の力、或いは民間企業、農家の方、ボランティアとして関わる市民、いろいろな人たちの力が合わさって今の状態の生田緑地があると認識している。それをみんなの力で一層盛り上げて、大変厳しい社会状況の中で良い状態をつくっていったらと思うので、是非みなさんで力を合わせて「良い生田緑地づくり」を進めていけたらと思う。よろしくお願ひします。

(マネジメント会議 井口副会長)

- ・生田緑地雑木林勉強会の井口です。このたび初めて生まれるマネジメント会議、広域の方々が参加する会議の副会長として、推薦いただき責任の重さを痛感している。個人的には15年ほど、生田緑地に主に自然関係のボランティア団体に関わってきた。冒頭で建設緑政局長のご挨拶にあったように保全と利用をどうしていくかが、マネジメント会議の中で最大のテーマだと思っている。個々の事象について、保全と利用について間を採って妥協していくのではなく、判断の視点をどこに置くかが問われると思う。葉袋会長を少しでも助けていきながら、その場のジャッジメントというよりは、10年後の生田緑地がどうなっていくのか、10年後の世の中で、生田緑地がどうあるべきかということ踏まえて討議を重ねていきたいと思っている。よろしくお願いします。

(自然環境保全管理会議 倉本会長)

- ・長い名前の会議ですが通称は「自然会議」でお願いしたい。明治大学の倉本です。生田緑地に関わるようになってから15年ほど経ち、植生は人間が管理しやすいので植生を管理することを通して生田緑地の生態系を良いものにするように植生管理協議会で努めてきた。これからは自然会議で、今まで以上に、より広い方が計画や運営に関わっていただけるよう望んでいる。よろしくお願いします。

(自然環境保全管理会議 岩田副会長)

- ・かわさき自然調査団の岩田です。皆さんは生田緑地の自然と言ったとき何を連想しますか。ちょうど咲き出した枳形山の桜でしょうか。ばら苑のバラでしょうか。菖蒲池の花菖蒲でしょうか。生田緑地には一万年前の氷河期の頃から命を繋いでいると言われている生き物がいる。こういう生き物は一度、生田緑地から失われてしまうと二度と取り戻すことはできない。かわさき自然調査団の水田ビオトープ班では、こういう生き物がこれからも生き続けられるように生物と生息環境を保全する活動を続けている。自然の保全と利用の話があったが人為的に植えたものやお金さえ掛ければつくれる自然もある。街路樹をはじめ先ほど挙げたものもあるが、そういうものとは比べられない生田緑地にしかないものが実はたくさんある。これは川崎市民として自慢できるものだと思っている。大都市の市街地の中の、こんな小さな緑地の中に、こんな生き物がいる。東京都、或いは神奈川県全体を見ても、生田緑地が凄いことを知っている人はいる。そういう場所だということを是非ご理解いただき、これからの会議、協議を進めていきたいと思う。よろしくお願いします。

《これより設立総会の議長を葉袋会長にお願いする》

(事務局)

第3号議案 アドバイザーについて

(資料3により説明)

(出席者) 拍手。承認。

(事務局)

その他

運営スケジュールについて

(資料4により説明)

(事務局)

活動計画書の提出について

(資料5により説明)

(公園管理課)

生田緑地整備事務所の設置について

(資料6により説明)

(事務局)

生田緑地整備事務所及び東口ビジターセンターの利用について

(概要を説明)

- ・生田緑地整備事務所について、5月1日から2階の市民活動室とシャワー室をマネジメント会議会員の団体の方に貸し出しを開始したいと思っている。内容は生田緑地に関する活動や話し合いの場合に利用いただけることで考えている。利用の手引き等については別途、送付する。
- ・ビジターセンターについては2階に企画展示スペースと多目的スペースがある。こちらは今年度、暫定的に既存の2つの協議会の団体の方に開始しているが、25年度からはマネジメント会議の会員の団体に利用いただけるようにする。企画展示スペースというのは団体の活動紹介や生田緑地のPRということで一ヶ月間企画展示ができるコーナーになっている。今年度はかわさき自然調査団のキノコ班が企画展示を行った。多目的スペースについては通常は公園利用者が休憩スペースとして使えるように開放しているが、マネジメント会議の会員の団体が生田緑地に関する打合せ等を行う場合で、且つ20人以上で利用する場合にはパーテーションを閉めて貸し切り利用できる。椅子が69脚あるので69人までの利用が可能となっている。こちらについても登録方法、利用方法についての手引きを後日、送付させていただく。

(葉袋会長)

- ・以上で予定していた議題は終わりだが、他に何かあるか。それでは全ての議事を終了したので生田緑地マネジメント会議設立総会を終了する。

第2部

<意見交換会>

(葉袋会長)

- ・マネジメント会議は、いろいろな主体が集まって生田緑地に直接、或いは間接的に関わる皆さんが集まる協働のプラットフォームということで設立された。しかし日頃、顔を合わせない方もいると思うので自己紹介も兼ねて意見交換会を行いたい。
- ・これまでの準備会を通しての感想、これからマネジメント会議が立ち上がるにあたって期待すること、こんなプロジェクトを立ち上げたい、などがあれば是非お話していただきたい。

(事務局)

これまでの経緯について

(別紙A 3 資料により説明)

<会員以外の行政職員・指定管理者の自己紹介>

<会員の自己紹介>

(多摩区役所地域振興課)

(多摩区役所企画課)

(宮前区役所企画課)

(経済労働局商業観光課)

(岡本太郎美術館)

(市民こども局市民文化室)

(建設緑政局公園緑地課)

(建設緑政局公園管理課)

(多摩区道路公園センター整備課)

- ・平成 23 年から足掛け 2 年、8 回の準備会を経て、ようやくこの日が迎えられた。そして 5 回も市民活動団体の皆さんと議論をさせていただいた。生田緑地ビジョンの基本理念でもある、市民の財産である生田緑地の魅力と価値を高めるということは、同時にマネジメント会議の目的にもなっていると思う。生田緑地は市民の皆さんに喜んでいただける、たくさんの財産があると思う。できるだけ多くの方に来ていただき喜んでもらいたいと思っている。同時に豊かな自然、貴重な自然も保全していかななくてはいけないので、保全と利用のバランスを上手くとって調整をしていきたい。その調整機能をこの会議に期待したいと思っている。よろしくをお願いします。

(教育委員会文化財課)

(日本民家園)

(青少年科学館 (かわさき^{そら}宙と緑の科学館))

(生田緑地・3 館指定管理者 (生田緑地運営共同事業体))

- ・事業開始に向けて準備中の段階だ。4 月 1 日以降の事業に向けて努力させていただいているが、皆様方のご支援とご協力を得て良い事業にしていきたい。また、このマネジメント会議の資料については、これからじっくり熟読させていただき、粗相のないように対応したい。よろしくをお願いします。

(藤子・F・不二雄ミュージアム指定管理者 (株式会社藤子ミュージアム))

- ・ミュージアムには全国から多くの方にお越しいただいているので、これからは生田緑地の魅力を発信できるように頑張りたい。

(川崎国際生田緑地ゴルフ場指定管理者 (東急リゾートサービス・石勝エクステリア共同事業体))

- ・ゴルフ場の準備業務に追われていることもあり、生田緑地について、まだまだ不勉強な部分もある。公園の中のゴルフ場として PR できたらいいと思っている。

(生田緑地ばら苑管理業務受託者 (財団法人川崎市公園緑地協会))

- ・生田緑地ばら苑は年2回、春と秋に開園している。去年は春と秋、合わせて10万人の方が訪れている。今年の春は5月中旬から6月上旬に開園予定となっている。具体的な日程は決まっていないが、よろしくお願ひしたい。

(日本女子大学)

- ・西生田総務課から出席しています。よろしくお願ひします。

(明治大学 (生田キャンパス))

- ・今日は大学の地域の窓口となっているキャンパス課にも一緒に来てもらった。大学でできることはわからないが、学生を使ってできる何かプロジェクトがあれば是非協力させていただきたい。よろしくお願ひします。

(KSソーシャル・ビジネス・アカデミー (専修大学大学院事務課))

- ・専修大学は生田緑地のすぐ隣の大学であり、KSソーシャル・ビジネス・アカデミーというのは、Kは川崎市、Sは専修大学ということで共同主催で運営しているアカデミーだ。このアカデミーは社会人向けの講座で、社会人の方が自身のキャリア、経験、才能、資格等を活かして地域に貢献できる人材を育成しようと開講している。既に4年が経ち、200名ほどの修了者が出ている。ここで一つやらせていただきたいことがあり、アカデミー長に代わってお願ひがある。講座の中でインターンシップ、いわゆる現場研修があり、その研修先を生田緑地にしていただけたらと思っている。既に修了生の中でボランティアとして日本民家園で働かせていただいているが、研修先として数名を活動させていただけたらと思っている。よろしくお願ひします。

(専修大学 (学長室企画課))

- ・本日は代理出席で、会員としては専修大学経済学部教授が出席する。専修大学は生田緑地に隣接した大学なので、何かご協力できることがあれば大学として努めていきたい。よろしくお願ひします。

(初山自治会)

- ・こんなに素晴らしい会が本日設立するまでには、これまで携わった方々が非常にご苦労されたと思う。川崎市は公園整備にあたり、調整のため初山までよく足を運んでくださり、一生懸命な姿を見せていただいた。
- ・初山自治会長をしている。最近では飛森谷戸に非常に大勢の方が訪れていて、農作物を耕作して育ていく風景や、汗をかいている姿が良く、雑木林と田園風景がマッチしているという言葉頂き、大変励まされているので、これからも頑張りたい。

(宮前区観光協会)

- ・近いので生田緑地にはよく行く。1年に少なくとも7、8回、歩いて楽しんでいる。これから新緑がいい時期なので楽しみにしている。

(まみあな自治会)

- ・会員の代理で出席している。話を伺って素晴らしい会の展開図等もを見せていただいた。世界に誇れる緑地が維持されるよう期待している。よろしくお願ひします。

(長尾町会)

- ・私の子どもの頃は、向ヶ丘遊園跡地のばら苑がグラウンドだった。そのグラウンドを知っている人も知らない人もいると思うが、子どものころから遊園地で遊んだり野球をしたり、非常に懐かしい場所だ。地元の町会としてよろしくお願ひします。

(鴛鴦沼（おしぬま）自治会)

- ・鴛鴦沼自治会の会長をしている。鴛鴦沼は知名度が低く、人に案内するときは必ず生田緑地の脇にあると説明すると皆さん納得してくれる。そういうわけで、生田緑地に関する関心は高まる一方だ。ますますマネジメント会議が発展することを望んでいる。よろしくお願いします。
- ・鴛鴦沼自治会の副会長をしている。この町会自体が緑地の一部であるところもあり、隣接してばら苑がある。今度 50 周年記念碑を作るが、鴛鴦（おしどり）が 50、60 羽のゴルフ場の滝沢池にいらしい。2月のゴルフ場開放日にハイキングコースで回ったが、その日は鴛鴦が少なかった。滝沢池に小舟を浮かばせて採ってきたドングリを置いて鴛鴦を増やしたいという意見を持っている人もいます。そういうことができるようになったら嬉しい。

(多摩区まちづくり協議会)

- ・協議会の会長をしている。これまで生田緑地管理運営協議会の副会長をしていた。利用する立場として出入り口の名前を付けたいと思っていたが、結局付けられなかった。木の名前がわかるよう、名札を付けてもらえるような活動をしてみたいと思っている。

(多摩区商店街連合会)

- ・生田緑地ビジョンの策定、マネジメント会議準備会と続けて仲間に入れさせていただいており、今日設立総会が成立したこと嬉しく思っている。こういう会で知り得た情報等を商店街等の情報ニュースとして会員の仲間にも折があればお知らせして、生田緑地の後援になっていきたいと思っている。

(多摩区観光推進協議会)

- ・利用する立場ということで皆さんご存知の生田緑地サマーミュージアムを通じて、いろいろと関わってきた。生田緑地は屋根のない博物館ということで、緑地内の3館の方々、或いは他の市民団体の方々の協力を得て今年で5回目になる。今年度の実行委員長であるのぼりとゆうえん隊さんがいるのでPRがあると思う。

(セレサ川崎農業協同組合)

- ・個人的な意見だが、この会議に出始めて生田緑地のことが少しずつわかってきた。その中で何ができるかということを考えてきているが、やはり生田緑地には良いところも悪いところも、まだまだあると思う。一つずつ良いところは伸ばし、悪いところは削っていったらと思っている。小さなお子さんの笑い声が聞こえ、大人も発散できるような緑地にしていけたらと思う。農協としても登録された各団体の方と共に活動していきたい。

(川崎商工会議所中小企業振興部多摩支所)

- ・準備会に出席させていただき、私は環境の知識が全くない状態で活用側の意見を言わせていただき、いろいろと物議をかもしたかもしれない。生田緑地を活用しながら自然を守っていくというメンバーにさせていただき、非常に光栄だ。商工会議所を通していろいろな形で生田緑地を広めながら自然を守り、活用できたらと思っている。

(炉端の会)

- ・日本民家園でボランティア活動をしている炉端の会の会長をしている。日本民家園の中に限られる活動であるが、メンバーが270人ほどいるので、施設の魅力を高める、日本民家園の魅力を高める、惹いては生田緑地の魅力を高めることに全員で邁進していきたい。メンバーが大勢いるので、一つ

の市民の目として生田緑地をどうみているかという声も会議に反映させられればと考えている。

(もみじ谷育樹会)

- ・もみじ谷育樹会は全国植樹祭のサテライト会場に使われた場所だ。そこに苗木が植わっており、その生育を維持管理している。

(向ヶ丘遊園の緑を守り市民いこいの場を求める会)

- ・会の事務局長をしている。私たちの会は向ヶ丘遊園の跡地を守りながら併せて生田緑地の魅力の向上という活動にも取り組んできた。生田緑地はとても大切なところで、東京 23 区、横浜 18 区、川崎 7 区の中で最大の緑地なので、川崎市に生田緑地局をつくったらどうかと言った。それはできなかったが生田緑地整備事務所ができたことは大変嬉しく思っている。中原区で切手を発行していたと思う。できれば生田緑地の切手を発行してはどうか。そのプロジェクトができたらいいなと思っている。

(向ヶ丘遊園駅周辺の街づくりを考える会)

- ・会長をしている。向ヶ丘遊園駅周辺は、昭和 28 年ごろ非常に栄えた街だった。賑やかな街で 4 月から 12 月まで子どもたちを連れた家族がいっぱい来ていた。しかし今日非常に寂れている。何故寂れたのか。小田急線で多摩区の街が 2 つに分かれてしまったからだ。それを何とか繋ぎたいと思い活動してきた。結局地下道ができることになり整備が進んでいる。これから良い街にし、そして生田緑地を単に川崎市というだけでなく、周辺の皆さんにも来てもらえるような場所にしようという考えがいいと思う。
- ・会の副会長をしている。今日はマネジメント会議の設立おめでとうございます。管理運営協議会に参加してきたが、こういう会議を通じて生田緑地が東洋一になるぐらいの気持ちを期待している。

(民具製作技術保存会)

- ・主に日本民家園の中の各民家の軒下などで活動している。会員は 24 年度 81 名で、会の中で 3 グループあり、わら細工グループ、竹細工グループ、はた織グループがある。略称「民技会」という。これからは民家園の「民技会」だけでなく、生田緑地の「民技会」の顔も持ちたいと思っている。

(ホテルの里の畑を守る会)

- ・ホテルの里の畑で、子どもの農作業体験などの活動をしている。
- ・マネジメント会議の一員として、よろしくお願いします。

(のぼりとゆうえん隊)

- ・のぼりとゆうえん隊は生田緑地サマーミュージアムという夏の暑いときに行われるイベントの実行委員会で生田緑地と関わらせていただいている。毎回、実行委員会が開かれるたび生田緑地マネジメント会議との関係をどうしたらいいかという議論が出ており、実行委員会の中にも 3 館の方もいて、いろいろな団体も関わっているが、何故か上手く関わりきれないところがあるので皆さんのお力を頂けたらと思っている。サマーミュージアムは今年は 8 月 4 日に行われるので一度お越しただけたらと思う。
- ・登戸まちなかアートプロジェクトに参加しており、生田緑地が良いところだということに気付いた。現在 1 万 2,000 人ほどが専修大学に通っているが、学生が観光大使でやっていけたらいいなと思っている。

(飛森谷戸の自然を守る会)

- ・飛森谷戸は宮前区の初山地区にあり、去年あたりから、かなりホタルが出てきている。私は活動を始めて7年になるが、毎年ホタルが増えているので是非皆さんに今年も見てください。年に2回、野外コンサートをしており、非常にこれも好評で、今年は回数を増やす予定だ。
- ・ホタルについてはゴルフ場と共同事業で行っているし、春と秋には森の音楽会ということで場所を使わせていただいて活動している。先ほど切手の話もあったが、飛森谷戸は宮前区30周年の記念シート切手になっているし、向ヶ丘郵便局ではスタンプになっている。そういったことで生田緑地でも、どなたかが進めれば実現できると思う。初山自治会の会長にも農業指導などで協力していただいている。

(特定非営利活動法人かわさき自然調査団)

- ・かわさき自然調査団は活動を始めて30年だ。青少年科学館でボランティアとしてスタートして30年だ。青少年科学館の行っている自然系の事業の協働のパートナーとして位置付けてもらっている。自然関係の調査及び青少年科学館が主催している観察会のガイドも行っている。生田緑地にいらっしゃる自然の大好きな市民の方たちと触れ合いながら楽しい時間を過ごさせてもらっている。青少年科学館との事業の中で生田緑地は活動の拠点でもあるので、自然についてはとてもよく調べている。多分、生田緑地の自然については誰よりも調査団がよくわかっている。また、多摩区道路公園センターとはホタルの里に関する事業や市民部会を協働して行っている。ホタルに関しては昨年度1万人ほどの人がいらっしゃり、一番多い晩は3,000人以上の人がホタルを見に来た。そういう事業を多摩区道路公園センターとかわさき自然調査団は、ホタルの里と名前が付いたときに話し合い、自然を守りながら、来る人に快適に怪我なく見てもらえるようなホタルの観察会をしていこうということでスタートした。これ以上来たらパンクしそうだが、いろんな方にボランティアしていただきながら続けている事業だ。生田緑地の中の自然を守り且つ高め、来ていただいた方に自然に接してもらおうという活動を続けている。

(生田緑地の雑木林を育てる会)

- ・生田緑地には放置された里山というような面がかなりあると思うが、そこを何とか雑木林にしたいと思い活動している。月2回、活動している。

(薬袋会長)

- ・これで全員が何かしらの発言ができたのではないと思う。今日どなたもいらっしゃっていない団体もある。私が確認したところでは宮前区全町内・自治会連合会、民家園通り商店会、飯室谷戸町会、生田緑地の谷戸とホトケドジョウを守る会、多摩川エコミュージアム、もみじ会の方がご欠席である。次回いらっしゃったら、是非お話を伺えればと思っている。

(事務局)

- ・本日、もみじ会の方が、もみじ谷育樹会の立場でいらっしゃっている。

(薬袋会長)

- ・今日は兼任でご出席ということで、もみじ会として何か一言お願いしたい。

(もみじ会)

- ・もみじ会では、ビオトープ池を作って、昆虫、水辺の植物などの観察をしている。ちょうどばら苑の下のところありで、現在は一般の人が常時入れるところではないので、ある部分、それが功を奏して

いるのではないかと考えている。いずれはたくさんの方々が入れるようになると思うので、それまでには大きくして、観察できるような形にしていきたいと考えている。

(葉袋会長)

- ・少し、意見交換や質問、出てきた意見に対しての発展的なご意見などを伺いたい。
- ・マネジメント会議にこれから期待することとして、発言をボードに書いていただいた。利用者の立場から、「自然の中で市民が楽しめるように」、「農地を活用していきたい」、「市民の声を生かすような仕組みをつくっていきたい」、「大学生が参加できるように」、「インターンシップ研修の場としていきたい」などがあつた。NPO へのインターンシップも可能性があると思う。「学生を観光大使に」というのは素敵なことだ。多摩区の観光大使として、特に生田緑地についてよく知っている学生が観光大使として卒業した後、全国、あるいは世界に巣立って行ってくれたら生田緑地の知名度が上がるのではないかなと思う。それから行政の方からは「市民の声を拾いたい」、「現場と市民をうまく繋げたい」、「保全と利用の調整をうまくしていく」ということがあつた。
- ・具体的なプロジェクトとしてご提案があつたのが「木の名札を付けてほしい」、それと同時に「入り口に名称をつけたい」というお話があつた。私が今どこにいるかを伝えたい時に、名前がないと確かに不便である。「子どもたちの元気な声が聞こえ、大人でもたまには発散できるような雰囲気の間になったらいい」、「おしどりがたくさん居たらいい」、「生田緑地の切手を発行したい」というご意見が出された。何か、もっと詳しく聞いてみたいとか、同調する意見があると次に向けて勇気が出ると思う。提案された方は随分勇気が必要だつたと思うので、是非応援のご意見があればお願いしたいが、いかがか。先ほど生田緑地の切手を発行するという意見について、初山地区では既にご経験があるということで、コツのようなものがあれば一言お願いしたい。

(会員)

- ・特にコツはないと思う。郵便局には独自につくられた地域毎のスタンプがあつて、それを飛森谷戸の図柄でつくってくれたということで、我々から頼んでつくってもらったものではない。普段から自分たちの活動をPRすることが大切だと思う。
- ・切手も同様で、宮前区 30 周年で 10 箇所くらいピックアップされたときに入ってきた。地域で活動が認められていないと取り上げられないのではないかなと思う。

(葉袋会長)

- ・なるほど、まずは実績を上げていかなければというところか。何かそれについてももう少しご存知の方はいらっしゃるか。積極的なご提案だつたので検討できればいいと思う。木の名札というご提案があるが、皆さんはどのように思われるか。よろしければもう少し具体的にご説明いただきたい。

(会員)

- ・以前、生田緑地管理運営協議会の高める部会というところに所属していた。孫を連れてよく生田緑地に行くのだが、クイズ形式の木の名前が時たまあるが、大きな木にはほとんど名前が付いていない。孫から、木の名前を聞かれたときに、はずかしいことに答えられないことがほとんどである。来園者に木の名前をわかるようにしてあげるのも親しみやすくするひとつの方法ではないかなと考える。以前提案したのだが、理由がよくわからないままダメと言われて、付けることができなかった。それと同じことが出入り口の名前についてもあつた。生田緑地に 15 か所出入り口があつて、高める部会でいろいろと検討した。行政もいろいろと地区の町会などと調整していただいたが、結局これも他の部会か

らダメと言われて中途半端に終わってしまった。マネジメント会議という大きな意見調整のできる場で、是非ともこういったことも利用する人々の立場も考えてこれから検討していただければと思う。

(葉袋会長)

- ・これについて何かご意見をいただきたい。実は私も子供に名前を聞かれた時に、この木大きいねと言ってごまかす方で、もう少し勉強しなければいけないのだが、勉強するためにも何かいい工夫があればいいということかもしれない。こういうところに学生の皆さんの力を発揮していただくこともできるかもしれない。名札などを学生自身が付ければ、自分が手伝った生田緑地という気持ちで紹介していただける説得力のある観光大使になるかもしれない。

(会員)

- ・樹銘板は名前の普及という点では有効であるが、景観を壊してしまう面もあるので、生田緑地の全ての場所に樹名板を付けるべきではないと思う。ある特定の教育的に意味のある場所に限って樹名板を付けるべきだと思う。今の意見は自然部会の代表ではなく、個人的な見解である。

(葉袋会長)

- ・そういうことを教えていただけるとそういう考え方もあるのだとわかる。

(会員)

- ・やはり樹名板を付けると、カメラを持って写真を撮ろうとする方にはとても邪魔な場合がある。もうひとつ、生田緑地の中で行政が日本語以外のものも必ず付けたがるので、4か国語の樹名板がつく可能性もあると思う。

(葉袋会長)

- ・景観について、すべての木についていると目障りな気がする。一筋縄でいかないようなので、いろいろな方のご意見を踏まえてうまく取組が進められるといいと思う。他の件でご意見はあるか。

(会員)

- ・事務的なことであるが、メーリングリストは当然つくられるのだろう。第一回の運営委員会のマターかも知れないが、会議は何か月に1回しかないので、切手プロジェクトが立ち上がるとしたら、そういうことの呼びかけにさっそく必要だと思うがいかがか。

(葉袋会長)

- ・この会議は非常に多くの方が会員で、全員が毎回、出席できるわけではないので、どういった形でお互い連絡をとれるかは、実務面で非常に大事なポイントだと思う。皆さん、メーリングリストに期待はあるか。自分が情報を発信したいメーリングリストなのか受け取るだけのメーリングリストなのかで随分違うと思う。メーリングリストを使うのならこんな使い方ができるとか、次々メールが来て邪魔ということもあるかもしれない。

(事務局)

- ・準備会で葉袋会長からご提案いただき、今回、応募いただくときにご自分のメールをこの中で共有することについてご了解を頂いており、皆さんで共有する形になるのでそれを使ってお互いに情報をやり取りすることはできると考えている。

(会員)

- ・一斉にメールを送りたいという方がいらっしゃった場合に事務局を介して送るのか、アドレスを公開して各々やっていただく形にするのか、まだわからないということか。

(事務局)

- ・とりあえず皆さんでメールアドレスを共有する形をご同意いただいているので、どなたかが直接発信することも手続き的には可能なものであるが、かなりこまごまとしたローカルな話題が皆に知れてしまうことにもなるので、その運営の仕方は運営会議などで話し合ってみようと思っている。とりあえず皆さんでメールアドレスは共有できる形にしている。
- ・他の情報発信の仕方としては、指定管理者さんでホームページを管理するし、これからは場合によってはフェイスブックのようなものに移行するとか、いろいろアイディアが出てくると思うが、まず第一弾としてメールアドレスは共有できる。

(葉袋会長)

- ・他に何かメールを受け取る、あるいは発信するという点について、ご意見をいただきたい。たとえば、管理運営協議会の時には生田緑地内の工事に関連した説明会などが突然一週間前に決まることがあるのだが、会議に合わせるとは事後報告になってしまうので、そういうものはメーリングリストで流して、興味・関心のある方は時間が合えばその説明に立ち会えるというような取り組みをしていた。協働のため情報配信の方法について、どういうことを想定されているか、どんな方法を期待するのか伺いたい。

(事務局)

- ・まずは、事務局として皆さんに知らせなければいけない時はメールアドレスを使って流していくことはあるかと思う。あとは、会員が個別に他の会員に対して発信することをフリーで認めていくのかどうかは運営会議で話し合った方がいいのではないかと思う。

(葉袋会長)

- ・必要な情報は発信されてくるということである。あとは運営会議等で検討していきたいと思う。

(会員)

- ・会議が全大会、運営会議、自然会議と3つあるが、それぞれの会議の議事録または摘録はどこまで共有されるのか。メールでお知らせいただけるのか、あるいは会議のメンバーだけなのか。たとえば本日の会議の議事録はどのように配布されるのか。

(事務局)

- ・準備会は行政が設置しており、マネジメント会議が設立されると行政の会議ではなくマネジメント会議の会則に基づいて皆さんの会議として設立し、行政は事務局としての参加ということになる。まずは、準備会については摘録に関してはオープンにしており、市のホームページで公開している。マネジメント会議が発足した後も少なくとも総会や運営会議の議事録はオープンにするべきだと思うが、自然会議で希少種の話が出た時にオープンにできないというものがあれば自然会議の中でやり方を決めてもらうことになると思うが、皆さんのご意見を頂ければと思う。

(会員)

- ・運営会議のメンバーにだけは自然会議の内容を知らせていただかないと、中身を知らないで議論をすることになるのではないか。

(事務局)

- ・議事録の扱いについて、全体会と運営会議の議事録はまずオープンにするということと、自然会議の議事録は一般にオープンにするのか、それとも会議メンバーだけで共有するのか、あるいは内容によ

って使い分けていくのかというのは、一度、自然会議の中で議論した方がいいのではないかと思います。

(葉袋会長)

- ・何人かの方から、利用者の立場として生田緑地の魅力が高められるとよいというお話があったが、地域団体の方から具体的なご提案などあったらお願いしたい。

(会員)

- ・漠然としているが、イベントや、エコ関係の展示など、いろいろな形ができるのではないかと。ただ、どうしても屋根がないところなので、天候には左右されてしまうことが課題だ。

(葉袋会長)

- ・行政の立場で何か発言はあるか。

(行政会員)

- ・今、多摩区民祭の実行委員会の事務局の仕事をしているが、多摩区は観光資源が豊富なので観光の視点に立ったまちづくりを進めている。マネジメント会議ができたことによって今までやってきた区民祭やイベントに取り組むだけでなく、皆さんと一緒にイベントなどができるようになればいいと思っている。

(葉袋会長)

- ・他はいかがか。

(会員)

- ・多摩区道路公園センターが会員名簿の中に入っていないのはなぜか。

(事務局)

- ・多摩区道路公園センターと新組織が兼務になっており、新組織の課長が多摩区道路公園センターの中の生田緑地の維持管理の機能を担って来ることになる。生田緑地は宮前区部分を含めて多摩区道路公園センターが所管することになっており、それをそのまま背負って新組織ができる。

(会員)

- ・了解した。

(会員)

- ・今までマネジメント会議の準備会に参加してきたが、準備会に来ていなかった方がいらっしゃっている。今日の名簿に今日出席されている方々が入っていないのはどうしてなのか。席次表くらいは配っていただければありがたい。

(事務局)

- ・今回の名簿はマネジメント会議の会員の承認資料になっており、会員は1団体1会員ということになっていて、その方が出席者として記載されている。ご指摘のように今日参加している方の名簿があるとよかったと思う。

(葉袋会長)

- ・そういう素朴な疑問もぜひ出していただくとお互いの信頼関係につながり、この会議に気軽に出られるようになると思うので、気になることがあったら遠慮せずにおっしゃっていただきたい。やはり、協働するためには組織の名前がわかるだけではなかなか協働していくことはできないので、顔と気心が知れてくるとこれをいっしょにやろうという気持ちになる。次回の会議では、どんな人が座っているのかわかりやすい資料を皆に提供していただいて、挨拶がしやすいようになるとうれしいので、ご

協力をお願いしたい。

(会員)

- ・私どもは商店会だが、生田緑地ではサマーミュージアム等のイベントが開催されているが、近隣の町会、商店会でも独自で同じ日にやってみたいという声もある。地域の催しものと、生田緑地の催しを一緒のタイミングでやってみたら地域がもっと賑やかになるのではないかという声もある。商店会でできるかどうか分からないが、機会があれば地域を巻き込んだ広い範囲の催しを考えることも可能ではないかと思う。

(葉袋会長)

- ・イベントなどの日を合わせるなどのちょっとした工夫で面白くなると思うので、普段から情報交換しておきたい。
- ・それでは今日の意見交換会はこれで終わりにさせていただく。

(事務局)

<事務連絡>

- ・第1回の運営会議は4月26日（金）多摩区役所 601 会議室で 18：30 から行う。コアメンバーの方が対象になるのでよろしくをお願いしたい。
- ・平成25年度の第1回の全体会議を6月に行う予定。

以上